南相馬市立八沢小学校

平成３０年度全国学力・学習状況調査結果について

１　実施日　　平成３０年４月１７日（火）

２　調査対象　第６学年（１６名）

３　調査内容

（１）教科に関する調査

①国語Ａ　②国語Ｂ　③算数Ａ　④算数Ｂ　⑤理科

※Ａは主として「知識」に関する，Ｂは主として「活用（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力）」に関する問題です。

※理科については，問題の中にＡとＢのどちらも含まれています。

（２）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

４　調査結果

（１）教科に関する調査

①国語Ａ	：	全国平均正答率を上回りました。
②国語Ｂ	：	おおむね全国平均と同程度でした。
③算数Ａ	：	おおむね全国平均と同程度でした。
④算数Ｂ	：	全国平均正答率を上回りました。
⑤理科	：	おおむね全国平均と同程度でした。

（２）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

①成果が見られた項目

○　先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

○　家で，学校の授業の予習・復習をしていますか。

○　地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。

○　算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。

○　理科の授業では，自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。

○　５年生までに受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

②課題が見られた項目

●　家の人と学校の出来事について話をしますか。

●　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか。

●　将来，理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。

●　学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか。

５　学力向上の取り組み

今回の調査結果を受けて，国語科の活用力や算数の理解力をさらに伸ばすために，今後，次の３点について重点的に取り組んでいきます。

（１）思考力・表現力を高める授業づくりを重視した同僚間の学び合い

（２）生徒指導の三機能（温かい学級集団の形成，自己存在感を高める，自己決定の場の設定）を生かした積極的な生徒指導

（３）「学び方」の掲示に基づく学習習慣の徹底

６　保護者・地域の皆様へ

今回の調査では，子どもの生活習慣や学習習慣について改善が図られていることがわかりました。引き続き，次の２点については，ご家庭や地域の皆様のご理解とご協力を得ながら取り組んでいきたいと考えます。よろしくお願いいたします。

（１）生活習慣の定着

（２）親子でふれあう（話し合う）時間の確保